

こんにちは!

村立東海病院



手術室・中央材料室を紹介します

◆◆ 目指すのは“自分や家族が患者になったときに受けたいと思う看護” ◆◆

当院では、手術室は怖い場所ではなく、“未来に向かって希望を叶える場所”と位置付けてもらえるよう、患者さんやご家族の安心・安全を第一に、看護に当たっています。

手術室看護の中で、スタッフが一番大事にしていることは、もし“自分だったら”“家族だったら”

どんな看護を望んでいるのかを考え、寄り添う看護を行うことです。常に、患者さんのために“私たちは何ができるのか”“どうすれば良いのか”を考えて看護を提供しています。



◆◆ 手術を安全に受けさせていただくための取り組み ◆◆

【名前と手術部位の確認】

患者さんが手術室へ入室したときには、名前や手術部位を患者さんにも答えていただき、患者さんが本人であることの確認を行っています。

【術前訪問】

手術室の看護師は、手術の前に患者さんの病室を訪問しています。

全身麻酔や腰椎麻酔で手術を受ける患者さんが安心して手術を受けられるように、看護師が手術の前に病室を訪問して、手術室の様子や入室から退室までの流れなどを説明します。

また、手術という未知の状況への不安を少しでも和らげていただくために、手術に対する不安や疑問、要望などをお聞きしています。可能な限り、術後訪問もさせていただき、自分たちの看護の振り返りに役立てています。

【確認作業の徹底】

使用する全ての材料、薬剤などに対して、ダブルチェック(2人での確認作業)をしています。

【知識の向上】

定期的に勉強会等を開催し、専門知識を深める取り組みを行っています。

【器械類の管理の徹底】

手術で使用する器械類、外来や病棟で使用する鋼製小物の洗浄と滅菌、診療材料を含めた定数管理を行っています。洗浄・滅菌の不備による手術・処置の遅延や中止になることがないように、責任を持って業務に当たっています。

【誤認手術防止のためのチェック】

「WHO手術安全チェックリスト」を使用し、麻酔前(サインイン)、執刀前(タイムアウト)、手術室退室前(サインアウト)を行い、必要事項の確認を行っています。

タイムアウト実施中の様子

タイムアウト…手術時の麻酔導入前に執刀医・麻酔医・看護師等が一斉に手を止めて、患者の氏名・カルテ番号・生年月日・血液型、術式、手術部位等の確認を行い、手術における事故を防止する取り組み。

手術前だけでなく、術中においてもタイムアウトを行い、ガーゼや手術機器などの体内異物残存防止を図る場合もある。

これからタイムアウトを行います。



外回り看護師は、タイムアウトした時間を看護記録に記載する。

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)